

# FESC

非管理版

規格番号	D 002-19
配付番号	
配付日	

## 火災通報装置の認定実施細目



1996年04月01日 制定  
1997年10月01日 改正  
1999年06月01日 確認  
1999年08月01日 改正  
2001年04月25日 改正  
2006年07月28日 確認  
2011年08月05日 確認  
2012年04月01日 改正  
2015年04月01日 改正  
2016年04月01日 改正  
2019年10月01日 改正

一般財団法人日本消防設備安全センター 認定制度審議会 審議

(一般財団法人日本消防設備安全センター 発行)

## ○ 火災通報装置認定実施細目

この実施細目は、火災通報装置の認定を行うに際し、消防用設備等認定細則（以下「細則」という。）を補足するものである。

（型式認定等の範囲）

1 型式認定等の範囲は、次による。

- (1) 細則第3条の型式認定、細則第7条の型式変更認定、細則第10条の軽補正及び細則第11条の性能確認の範囲は、表1による。
- (2) 表1に規定する軽補正以外の軽微な変更は、届出とし、当該届出の様式は、細則別記様式第7号に準じる。

（設備等基本設計事項資料）

2 細則第3条第1項第4号の設備等基本設計事項資料は、次による。

- (1) 構造、部品の名称、寸法及び材質等を明らかにした次に掲げる図面等とする。
  - ア 寸法、名称を記入した完成品
  - イ 寸法、名称（JIS（産業標準化法（昭和24年法律第185号）第20条第1項の日本産業規格をいう。以下同じ。）に規定する材質にあつては、JIS記号）
  - ウ 電気回路図
  - エ 構成品の組み合わせ図又は表
  - オ 義務表示事項の内容、表示位置
  - カ 使用方法
  - キ 保守、点検要領説明書
- (2) 性能計算書
  - ア 音声記憶時間  
音声デジタル量の計算
  - イ 予備電源容量  
待機状態を60分間継続した後、最大負荷で10分間以上作動できることの容量計算
  - ウ 蓄積音声情報  
通報信号音の構成及び音声情報の内容

（設備等明細書）

3 細則第3条第1項第5号の設備等明細書は、様式1号により、その記入は、次による。

- (1) 型式記号欄は、申請者の型式名を記入する。
- (2) 自動火災報知設備との連動欄は、連動又は非連動のいずれかに○印を付ける。
- (3) 機能仕様欄は、火災通報装置の緒元を記入する。
- (4) 電源電圧、容量欄は、常用電源及び予備電源について記入する。
- (5) 火災通報装置の簡略な説明欄は、火災通報装置の構成をブロックダイアグラム等で簡潔に記入する。

(試験品質計画書)

4 細則第3条第1項第6号ウの試験品質計画書は、様式2号による。

(指定試験設備)

5 細則第4条第1項及び細則第15条第1項第1号の指定試験設備は、表2による。

(型式認定等の試験方法等)

6 細則第6条の型式認定(細則第7条第4号で準用する型式変更認定を含む。)の試験項目、試験試料及び試験方法等は、次による。

(1) 試験項目及び試験試料は、表3による。

(2) 試験は、表3の試料全数について行う。

(3) 試験の結果は、様式3号の型式試験記録表に記入する。

(サーベイランス及び個別認定の検査方法等)

7 細則第15条第2項のサーベイランス及び細則第19条第7項の個別認定の検査項目、試料及び検査方法等は、次による。

(1) 検査項目及び試料は、表3による。

(2) 検査は、表4を用いた抜取検査により行う。

(3) 全ての型式を一括抜取とすることができ、一括抜取検査を希望するときは、様式4号により申請する。

なお、一括抜取検査とした型式は、以降の検査において別のロットとすることができない。

(4) 検査の結果は、様式5号の個別検査記録表に記入する。

(5) 抜取検査における判定の対象となる欠点は、表5による。

**附 則**

- 1 この細目は、平成8年4月1日から実施する。
- 2 非常通報装置認定実施細目は、廃止する。
- 3 平成8年3月31日において現に認定されている非常通報装置は、平成9年3月31日までの間は、従前の例による。

**附 則**

この細目は、平成9年10月1日から実施する。

**附 則**

この細目は、平成11年8月1日から実施する。

**附 則**

この細目は、平成13年4月25日から実施する。

**附 則**

この細目は、平成27年4月1日から実施する。

**附 則**

この細目は、平成28年4月1日から実施する。

**附 則**（令和元年10月1日消安セ規程第15号：工業標準化法一部改正関係）抄

この規程は、令和元年10月1日から実施する。

第2項第3号 別表（略）のうちの関係規程等（認定関係）及び（性能評定関係）のうち、品目ごとに定める実施細目の一部を次のとおり改正する。（略）

表 1

型式認定、型式変更認定、性能確認及び軽補正の範囲

型 式 認 定	型 式 変 更 認 定	性 能 確 認	軽 補 正
著しく原型と異なるもの	1 性能に影響する 部品の構造、材質、 寸法の変更  2 モニター方法の 変更	1 遠隔起動装置、 予備電源、火災通 報装置用 T A 等の 追加  2 その他の火災通 報周辺機器等の追 加	1 性能に影響しな い部品の構造、材 質、寸法の変更  2 義務表示事項の 内容変更
その他消防用設備等認定委員会が指定するもの			

表2

## 指 定 試 験 設 備

品 名	仕 様	数 量	備考
関係法令・規程	設備等技術基準、試験基準及び判定基準、関係JIS	1 式	○
乱 数 表	JIS Z 9031	1 部	○
乾湿球温湿度計		1 個	○
寸 法 測 定 器	ノギス、マイクロメータ、巻尺、専用ゲージ等	1 式	○
ストップウォッチ	1/10秒計	1 個	○
試 験 装 置	試験方法及び判定基準の性能試験を電話回線を捕捉することなく行える擬似装置であること。 なお、擬似消防機関は、極性反転しない機能を有すること。	1 式	○
電 圧 計	0.5級以上	1 式	
試験用電源装置	電圧変動試験ができるもの	1 式	
周波数測定器	通報信号音の波形及び周波数が測定できるもの	1 式	

備考欄中○印を付した試験設備は、サーベイランスを受ける場合にも管理状況を確認する。

表3

## 型式認定等の試験項目等及び個別認定等の検査項目等

試験項目 (検査項目)		型式認定、型式変更 認定の試料数	サーベイランス、 個別認定の試料数
外観、形状、構造、材質及び寸法試験		2	○
全般的動作試験		2	◎
性能 試験	手動起動装置試験	2	◎
	電話回線の捕捉試験	2	◎
	優先通報試験	2	◎
	蓄積音声情報試験	2	◎
	蓄積音声情報等の送出しモニター試験	2	—
	再呼出試験	2	◎
	通話機能試験	2	◎
	呼返し応答試験	2	◎
	火災通報機能への影響試験	2	◎
	予備電源切替試験	2	—
	電圧変動試験	2	—
	選択信号等の送出手験(単体機能)	2	—
付属装置試験		2	◎
表示試験		2	○

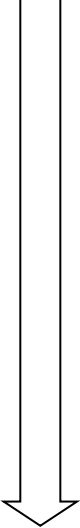
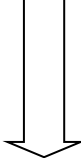
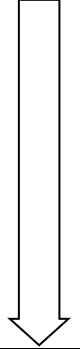
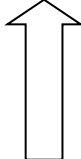



注1 表中○印は、表4の通常検査を、◎印は、同表の特別試料検査の数を示す。


2 サーベイランス又は個別認定において試験設備の機能に異常がある場合又は検査途中で故障が生じ、所定の時間内に検査が終了する見込みがないと判断される場合は、検査を打ち切る。この場合においてロットの可否の判定は、補正とする。


表4 (その1)

抜取検査の方法

(初回検査用)

ロットの 大きさ	通常検査						特別試料検査							
	試料の 大きさ	第1欠点		第2欠点		第3欠点		試料の 大きさ	第1欠点		第2欠点		第3欠点	
		Ac	Re	Ac	Re	Ac	Re		Ac	Re	Ac	Re	Ac	Re
2~8	2							2	0 1		0 1		1 2	
9~15	2			0 1										
16~25	3													
26~50	5			1 2										
51~90	5			2 3										
91~150	8													
151~280	13	0 1	1 2	3 4	3	0 1	0 1	1 2						
281~500	20			2 3		5 6	0 1	0 1	1 2					
501 ~1,200	32			3 4		7 8	0 1	1 2	2 3					
1,201 ~3,200	50	1 2	5 6	10 11	8	1 2		2 3		3 4				
3,201 ~10,000	80	2 3	7 8	14 15										
10,001 ~35,000	125	3 4	10 11	21 22										

 = 矢印の下方の最初の抜取方式を用いる。

 = 矢印の上方の最初の抜取方式を用いる。

試料の大きさがロットの大きさ以上になれば全数検査となる。

Ac=合格判定個数 Re=補正判定個数

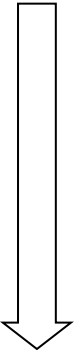







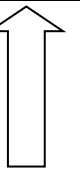
ロットの合否の判定は、不良数がAc以下のときは合格とし、Re以上のときは補正とする。





表4 (その2)

抜取検査の方法

(補正検査用)

ロットの 大きさ	通常検査						特別試料検査							
	試料の 大きさ	第1欠点		第2欠点		第3欠点		試料の 大きさ	第1欠点		第2欠点		第3欠点	
		Ac	Re	Ac	Re	Ac	Re		Ac	Re	Ac	Re	Ac	Re
2~8	2							3	0	1	0	1	0	1
9~15	3			0 1										
16~25	5					1 2								
26~50	8					2 3								
51~90	13	0	1	1	2	3	4							
91~150	20			2 3		5 6								
151~280	32			3 4		7 8		5	0	1	1	2	2	3
281~500	50	1	2	5	6	10	11							
501 ~1,200	80	2	3	7	8	14	15	8	1	2	2	3	3	4
1,201 ~3,200	125	3	4	10	11	21	22	13	2	3	3	4	4	5
3,201 ~10,000	200	5	6	14	15									
10,001 ~35,000	315	7	8	21	22									

 = 矢印の下方の最初の抜取方式を用いる。

 = 矢印の上方の最初の抜取方式を用いる。

試料の大きさがロットの大きさ以上になれば全数検査となる。

Ac=合格判定個数 Re=不合格判定個数

ロットの合否の判定は、不良数がAc以下のときは合格とし、Re以上のときは不合格とする。

表 5

## 判定の対象となる欠点

欠点階級 検査項目	第 1 欠 点	第 2 欠 点	第 3 欠 点
外観、形状、構造、材質、寸法、表示試験	1 機能に影響のある構造、材質、寸法の不良 2 機能に影響のある部品の脱落	1 表示事項の脱落 2 部品、配線接続部の不良	1 機能に影響のない部品の脱落 2 表示事項の判断困難 3 仕上げ面の不良
全般的動作試験 性能試験	1 作動しない 2 過電流保護装置の不作動 3 表示装置の不作動	蓄積音声情報の不明瞭	装置の蓋が容易に開かない装置の不良

(注) 1 1の試料において異なる階級の欠点がある場合は、それぞれの欠点を該当する階級の欠点に繰り入れる。

2 1の試料において同一の階級の欠点が2以上ある場合は、欠点を1とする。

様式 1 号

火災通報装置の明細書  
申請者 \_\_\_\_\_

項 目	明 細	
型 式 記 号		
自動火災報知設備との連動	連 動	非連動
機 能 仕 様	1 回線容量	回線
	2 蓄積音声情報記録媒体の種類	
	3 音声合成方式	
	4 音質	kbit/s
	5 蓄積音声情報記憶時間 (タイミング時間を含む。) 秒 通報信号音 通報メッセージ (ユーザーエリア) ( ) 秒	
	6 選択信号種別	
	7 119番着信判別方式	
	8 119番の呼返し信号に対する動作	
	9 119番通報終了手順	
	10 自動火災報知設備の移報接点の自己保持時の再起動防止措置	
	11 手動起動割込み機能	
	12 消費電力	(W) VA
	13 予備電源作動時間 (定格作動時)	
	14 単体機能	
	15 火災通報以外の機能	
電 源 電 圧 、 容 量	AC V 、 DC ( 電池) V	mAH
寸 法	本 体	たて mm×よこ mm×奥行 mm
	起動装置	たて mm×よこ mm×奥行 mm
	表示装置	たて mm×よこ mm×奥行 mm
	付属装置	たて mm×よこ mm×奥行 mm
質 量	kg	
火災通報装置の簡略な説明		

様式2号 試験品質計画書

<u>試験品目の管理</u>	<u>試験方法</u>	<u>試験結果のチェック</u>					
<u>試験を実施する要員</u>		<u>報告書</u>					
<u>施設及び環境</u>	<u>設備及び標準物質</u>	<u>計量トレーサビリティと校正</u>					
		申請者			一般財団法人日本消防設備安全センター		
		作成	審査	承認	受付	確認	承認

様式 3 号

火災通報装置 型式(社内・立会)試験記録			試験日	年月日		試験立会者	印		
				開始時	終了時		印		
申請者			天候			実施者	印		
型式記号			温度	℃	℃		印		
試験場所			湿度	%	%		印		
試験項目と内容				試験料					
				A		B			
外 観 等 試 験	構造・形状・材質			良	否	良	否		
	仕上がり状況			良	否	良	否		
	寸法	本 体	縦	± mm		mm		mm	
			横	± mm		mm		mm	
			奥行き	± mm		mm		mm	
全般的動作				良	否	良	否		
性 能 試 験	手動起動装置試験		操作が円滑	良	否	良	否		
			選択信号の送出開始		秒		秒		
			発報表示	良	否	良	否		
	電話回線の捕捉試験		発信時	良	否	良	否		
			着信時	良	否	良	否		
	優先通報試験			良	否	良	否		
	蓄積音声情報試験	手動起動	通報信号	良	否	良	否		
			メッセージ	良	否	良	否		
			音声記憶時間		秒		秒		
		連動起動	通報信号	良	否	良	否		
			メッセージ	良	否	良	否		
			音声記憶時間		秒		秒		
	蓄積音声情報等の送しモニター試験			良	否	良	否		
	再呼び出し試験			良	否	良	否		
	通話機能試験		呼び返し 応答	自動的に10秒開放	良	否	良	否	
				呼び返しの可聴的表示	良	否	良	否	
				冒頭から開始	良	否	良	否	
			手動操作による切替、通話		良	否	良	否	
			二次通報先に10秒開放	良	否	良	否		
	誤って開放したときの呼び返し応答		呼び返しの可聴的表示 応答通話	良	否	良	否		
良				否	良	否			
火災通報以外の機能による影響			良	否	良	否			
予備電源切替試験			良	否	良	否			
電源変動	常用電源	90%～110%	良	否	良	否			
	予備電源	85%～110%	良	否	良	否			
予備電源切替試験			良	否	良	否			
単体機能試験			良	否	良	否			
付属装置試験			良	否	良	否			
備 考				認定番号		火通一 号			
				消防用設備等 認定委員会	判定	合格	補正	不合格	
					年月日	年月日			
				委員長		印			
				警報専門 設備委員会	判定	合格	補正	不合格	
					年月日	年月日			
委員長		印							
実施者			判定	良	保留	否			

# 一括抜取申請書

年 月 日

一般財団法人日本消防設備安全センター

理事長 殿

申請者

住所

法人の名称

代表者の役職及び氏名

電話番号

下記の型式について、認定番号（ 号）と一括して個別検査を希望しますので、申請します。

記

設備等の種別	
認定番号	号
型式記号	
一括抜取り検査開始希望日	年 月 日

様式 5号

個別（立会・社内）検査記録表				判定		合格・補正・不合格		検査年月日		年 月 日		申請者																			
火災通報装置	型式別	区分	記号	番号	受検数		受検総数		ロット番号	検査条件	開始時	終了時	実施者	受検場所		印 印															
		A					天候																								
		B					温度	℃			℃																				
		C					湿度	%			%																				
検査項目・内容		試料番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20								
		抜取番号																													
外 観	構造・形状・材質			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否								
	仕上がり状況			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否							
	寸 法	本 体	縦	±																											
			横	±																											
			奥行	±																											
				±																											
				±																											
表示			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否								
性 能 等	全般的動作			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	検査項目・内容			試料番号			1	2	3	4	5											
	手動起動装置試験 (1回)	操作が容易、確実		良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	性 能 等	通話機能 試験	呼び返し 応答	自動的に10秒間開放			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否											
		選択信号の送出開始		秒	秒	秒	秒	秒				秒	秒	秒	呼び返しの可聴的表示			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否								
		発報表示		良・否	良・否	良・否	良・否	良・否				良・否	良・否	応答・通話			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否								
	電話回線の捕捉試験	発信時		良・否	良・否	良・否	良・否	良・否			性 能 等	通話機能 試験	手動操作による切替、通話	手動操作による切替、通話			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否								
		受信時		良・否	良・否	良・否	良・否	良・否						良・否	良・否	誤って開放したときの呼び返し応答			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否						
	優先通報試験		通報試験		良・否	良・否	良・否	良・否					良・否	性 能 等	通話機能 試験	呼び返しの可聴的表示			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否						
	蓄積音声 情報試験	手動起動	通報信号音		良・否	良・否	良・否	良・否		良・否			性 能 等			通話機能 試験	火災通報以外の機能による影響			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否					
			メッセージ		良・否	良・否	良・否	良・否		良・否							良・否	自火報設備 との連動試験	火災信号の受信による起動			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否			
		音声記憶時間		秒	秒	秒	秒	秒		秒							自火報設備 との連動試験		手動起動装置の操作による通報			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否		
		冒頭から開始		良・否	良・否	良・否	良・否	良・否		良・否	性 能 等	通話機能 試験						準備			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否
	自動火災報 知設備連動	通報信号		良・否	良・否	良・否	良・否	良・否		性 能 等							通話機能 試験	備考			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否
メッセージ		良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	性 能 等						通話機能 試験	備考			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否			
音声記憶時間		秒	秒	秒	秒	秒	秒		性 能 等				通話機能 試験		備考			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否			
冒頭から開始		良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否				性 能 等	通話機能 試験			備考			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否			